

<校内研修・自主研修用>

# 3 道徳科の評価方法



# 道徳科の評価方法

- 授業記録
  - エピソード記録
  - 聞き取りやインタビュー
  - 作文やノート等の記述の活用
  - パフォーマンス評価
  - ポートフォリオ評価
  - アンケートの活用
  - ICTの活用
- 等

# 授業記録

●授業に対する取り組みの様子や、グループやクラス全体での話し合いにおける発言内容等から分析し、評価していく。

## 例) チェックリスト例

児童生徒氏名	自身のこと		教師との関係		級友との関係		その他気付いたこと
	発言	挙手	教師への視線	うなずき	発言への傾聴	うなずき	
A	✓	✓✓	✓	✓✓	✓✓✓	✓	

# エピソード記録

●道徳科の授業において、教師の発問やワークシートの記述等、中心発問や基本発問に関わる授業の柱となる本筋ではないが、児童生徒のねらいに関わるよい点や進歩した点がわかるような話。

例)ねらいを「親切・思いやり」とする授業で、算数科や理科では発言の少ないA子さんが、自分自身のことを振り返り、やさしくしてもらった経験を生き生きと発言する姿は、他教科の様子と比較してのエピソードとなる。

# 聞き取りやインタビュー

●授業後に、個々の児童生徒と言葉を交わすことで、一人一人の考えや真意を理解することができたり、授業中に知り得なかった学びを把握することができる。

# 作文やノート等の記述の活用

●教師にとっては、「本時のねらいをどこまで迫ることができたのか」という授業評価が可能になる。

## 【具体的な方法】

### ●道徳ノート

児童生徒の創意ある記述や紙面の工夫を促すことができる。

### ●ワークシート

教師が意図的に設定した問いの記入欄や自己評価欄を置くことで、同じ角度から児童生徒を評価して、指導につなげることができる。

# ●ワークシート例

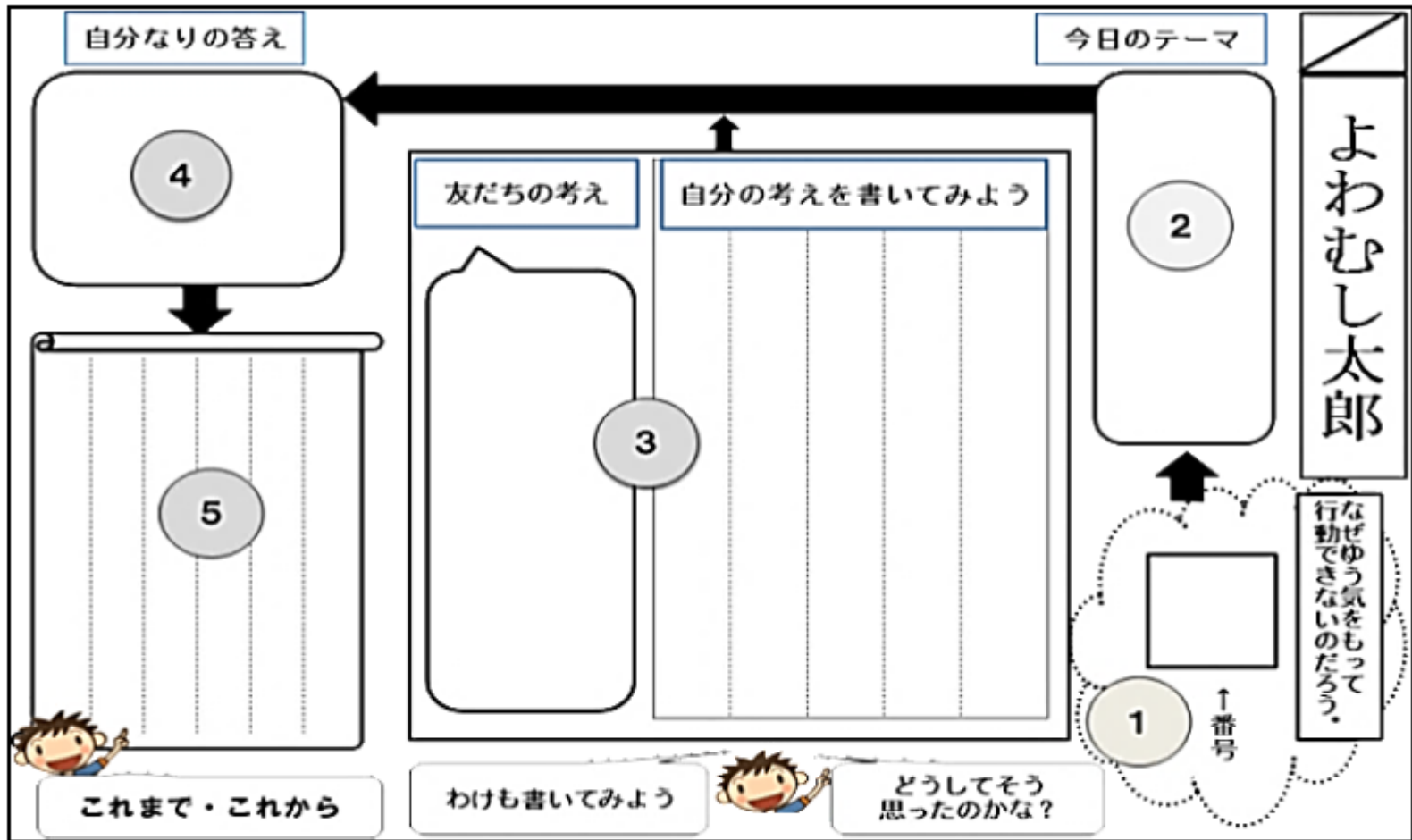


図3 道徳的な問題を追求させるためのワークシート

# ●ワークシート例

## 心情円盤とワークシート



道徳ワークシート

### 「健治の迷い」

氏名 鶴本 明香

①自分の意見とその理由を書こう

先生に 言わない	自分のせいで相手の勉強時間をなくして、カンニング するようなことになってしまったから、そこは責任を負って 先生に言わないようにする。
-------------	--

(ペア対話メモ)

②ペア対話をふまえて、自分の意見と理由を書こう。

先生に言わない	変わらない
---------	-------

(グループ対話メモ) 心に響いた言葉・深く考えた問い

③グループ対話をふまえて、自分の意見と理由を書こう。

先生に 言わない	最初と変わらない+そのことを言ってしまうと大輔が 周りの友達からきられて、イジメられるから。
-------------	---

④今日、学んだことをもとに、自分自身に問いかけてみよう。

まず、そもそもカンニングはしないことが一番だと思ふ。

この話では、私は先生には言わないが、相手に直接言ってみて相手が正直に  
先生に言うようにせっとくしてみる。それでも無理だと、先生に言う。



# パフォーマンス評価

- 児童生徒が自らの学びを具体的なパフォーマンスとして表出したつぶやきや発言
  - 挙手等による態度表明
  - 役割演技の演者の演じた役割やその時の言動(表情やしぐさを含む)
  - 演じた後の話し合いでの発言内容
  - 演じられた後の話し合いでの発言やつぶやき
  - 演じられた役割に関する解釈
  - ワークシートやノートの記述
- 等

# ポートフォリオ評価

●ペーパーテストによらずに、児童生徒が自己評価と相互評価を通して「生きる力」をどれほど身に付けてきたのかを振り返る手法

# アンケートの活用

●授業評価の方法として、アンケートを実施する時には、「選択式の評価」が一般的である。

「肯定」「否定」のどちらかの傾向をあえて選ばせる**4件法**による評価が増えている。

## 〈質問項目の例〉

- ①今日の授業は楽しかったですか。
- ②今日の授業はためになりましたか。
- ③教授の授業では、友達の意見をしっかりと聞けましたか。
- ④この教材は、ためになりましたか。      等

# 道徳教育における生徒による自己評価の実施とその活用

①道徳的心情を揺さぶり深められたかを見る項目

ぶつう → まったく

②道徳的価値の理解を深めたかを見る項目

4	3	2	1
---	---	---	---

③自己を見詰め生き方についての考えを深めたかを見る項目

④学習内容を自分なりに発展させ実現しようとする意欲を見る項目

⑤教材の出来を測る項目

思えたか	5	4	3	2	1
------	---	---	---	---	---

⑤教材資料は心に響いたか

5	4	3	2	1
---	---	---	---	---

# 道徳における生徒の自己評価を生かした 記述式評価と授業力の充実（2年次）

—生徒の真情に迫る道徳の記述式による評価と授業力向上への手立て—

## ステップ1 「尺度評価」

まず、図1のように、道徳ワークシートの最後で尺度評価をします。四つの項目は、以下のように道徳的諸様相の意味をもちます。

- ① 考え方・判断に影響はあったか → 道徳的判断力
- ② 生き方への感動はあったか → 道徳的心情
- ③ 自分に生かしていこうと思ったか → 道徳的実践意欲と態度
- ④ 教材はよかったか → 教材観

図1 道徳ワークシートモデル

## 図2 道徳ワークシート 振り返り発問モデル

発問④ 今回の授業を終えて。

①	考え方・判断に影響はあったか					
②	生き方への感動はあったか					
③	自分に生かしていこうと思ったか					
④	教材はよかったか					

今日の授業で（ ）について考えたことを書きました。

尺度で整理した考えを文章化して、もう一度思考を広がります！

拡大

	とても ←	ふつう	→	ぜんぜん
5	4	3	2	1
5	4	3	2	1
5	4	3	2	1
5	4	3	2	1

記述が苦手でも表現可能！

入力

# ICTの活用

●児童生徒の様子を個別に確認できる記録として活用する。

〈例〉

●ICレコーダーを、各グループに配置し、グループ学習の前後の発言に質的・量的変化についての参考にする。

●役割演技を行う際、ビデオカメラを2台用意し、1台は斜め前からクラス全体を、残る1台は斜め後ろから役割演技の演者を中心に撮影し、授業後の視聴により演者の演じた意味や変容の根拠とする。

# 道徳科の評価を記述する着眼点(例)

## (ア)主に具体的な「児童生徒の学習状況」をとらえた評価

道徳の内容について、学習を深めていた(進んで書いていた。話し合いに積極的に取り組んだ。自分の考えをよく表現していた)など。

## (イ)主に多面的・多角的な見方への発展をとらえた評価

道徳的価値をさまざまな側面から広く見られるようになった。自分の考えを深めて具体的なものにしていったなど。

## (ウ)主に自分自身との関わりで価値の深まりに関する評価

学習した道徳の問題を自分事としてとらえていた。自分の生活や生き方の問題として考えていたなど。

## (エ)「道徳性に係る成長の様子」をとらえた全体的な評価

生き方へのあこがれを温めていた。自分自身を高めようとしていたなど。(ただし、行動・行為・習慣などの変容には触れない)。

# 通知表 記入文例



(ア) 主に具体的な「児童生徒の学習状況」をとらえた評価

- 教材の主人公の気持ちを、全員の前で発言することができました。気持ちよかったことを思い出し、よいことをたくさん行おうという実践意欲を高めていました。
- 登場人物の役を演じる学習では、役になりきって思いを積極的に表現しました。また、友達の意見も深く考えることができました。
- 授業におけるねらいとする道徳的価値についての理解を深める場面において、積極的に話し合いに参加し、意見を言うことができました。



# 通知表 記入文例



## (イ) 主に多面的・多角的な見方への発展をとらえた評価

- 「二わのことり」では、うぐいすのところに行きたい気持ちに共感しつつも、友達のことを考え、誰にでも優しくしたいという自分の考えを表現していました。
- 「自然の大切さ」の学習では積極的に話し合い、友達の考えと自分の考えの相違を知り、様々な見方・感じ方があることを気付きました。
- 授業を通して、人間の持つ無垢な優しさやあきらめない力強さを感じてきたことにより、自分ならどうしていかか考えることができるようになりました。

## 通知表 記入文例



### (ウ)主に自分自身との関わりで価値の深まりに関する評価

- 「かぼちゃのつる」では、自分勝手なわがままではなく、周りの人の気持ちを考えることの大切さを感じることができました。かぼちゃのつるの気持ちを自分事として捉えていました。
- 振り返りの場面で、自分の弱さを率直に話す姿等から、ありのままの自分の姿をしっかりと見つめていることがわかりました。
- いつも「自分だったらどう考えたり、感じたりするだろうか。」と自分の気持ちをもとに考え発言していました。このことが成長につながる学習になっているのだと感じました。

# 通知表 記入文例



## (エ)「道徳性に係る成長の様子」をとらえた全体的な評価

- 友達の発言をよく聞き、自分の考えを道徳ノートにしっかり書くことができました。苦手なことにも積極的に挑戦しようとする気持ちが伝わってきました。
- 生命の大切さについて真剣に考えています。「ヒキガエルとロバ」の学習では、主人公の姿から動植物の命も人間と同じように大切であることに気付きました。
- 教材文と同じ場面や状況だけでなく、生活のなかから広くねらいとする価値が関わってくる場面や状況を見つけ、「よりよい行動をとれるようになりたい」と考えていました。

おわりに



## ■ここがポイント！

○道徳性の評価の基盤には、教員と児童生徒との人格的な触れ合いによる共感的な理解が存在することが重要です。

○児童生徒の成長を見守り、努力を認めたり、励ましたりすることによって、児童生徒が自らの成長を実感し、更に意欲的に取り組もうとするきっかけになるような評価を目指すことが求められます。

# 参考文献

永田繁雄(2017)

「『道徳科』評価の考え方・進め方」教育開発研究所

